

八幡カップ全国シニア バスケットボール交歓大会 in愛媛松山 帯同報告



日 時: 2014年10月31日(土)～11月2日(日)
場 所: 愛媛県松山市
会 場: 松山青少年センター、松山大学、
松山東高等学校
帯 同: 福岡スーパーシニア
帯同者: 中谷 拓也、橋浦 理香

【八幡カップとは】

平成8年度に当時の山形県八幡町で誕生した大会。

当初はシニアの部のみでしたが、現在はスーパーシニアの部とゴールデンシニアの部が加わり、参加人数約600人の盛大な大会となっている。

八幡カップ全国シニアバスケットボール大会は、以下3つの大会の総称となっている。

第19回八幡カップ全国シニアバスケットボール交歓大会

(参加資格:1975年(昭和50年)4月1日以前に生まれた男子)

第11回八幡カップ全国スーパーシニアバスケットボール交歓大会

(参加資格:1965年(昭和40年)4月1日以前に生まれた男子)

第4回八幡カップ全国ゴールデンシニアバスケットボール交歓大会

(参加資格:1955年(昭和30年)4月1日以前に生まれた男子

1965年(昭和40年)4月1日以前に生まれた女子)

それぞれ地方別の予選に勝ち上がってきたチームが出場される。

【競技方法・ルール】

トーナメント形式

8分4ピリオド(ハーフタイム5分間)

～特別ルール～

スーパーシニア、ゴールデンシニアの部は、第2ピリオドをエンジョイピリオドとし、得点に関わらず勝ったチームに1点を与える。



【帯同の目的】

福岡スーパーシニアの選手のコンディショニングを行う。

【福岡スーパーシニアとは】

福岡のクラブチームから選抜されたメンバーで構成されている。

7月に行われた九州大会で見事に優勝。

例年は同時期に開催される全日本クラブシニアバスケットボールクラブ大会に出場されており、優勝も経験されている。

【1日目】

～試合結果～

11:50 第1試合目開始

福岡スーパーシニア 対 兵庫代表チーム

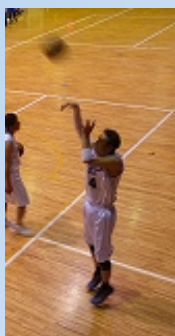
序盤は積極的なinsideの攻めにより相手を引きつけ、ノーマークをつくるという展開が機能していました。しかし相手のチームの体格の良さによりリバウンドを支配され、また相手チームの3Pシュートがよく決まり、惜敗となりました。



14:50 第2試合目開始

福岡スーパーシニア 対 山形代表チーム

1試合目と同様に、両者とも譲らない接戦が繰り広げられました。しかし、ここぞという時のミドルシュートが決まり、流れをつかむ場面がみられました。終盤まで相手チームのリードを許していましたが、残り10秒での同点ミドルシュート、その後すぐに速攻レーアップシューが決まり、逆転！見事な勝利でした。



～帯同内容～

試合前は会場にてコンディショニングを行いました。当院に通院されている選手からは、下肢を中心としたコンディショニングを要望されました。しかし、前日夜に福岡を出発、車で移動され、深夜2時頃に現地に到着されたということで、長時間車内で同姿勢を継続していたことから、腰背部の緊張もかなり高くなっていました。1試合目の前であるため、スタティックストレッチだけではなく、試合に向けて動きやすいように、調整を行いました。



2試合目の前も会場にてコンディショニングを行いました。腰背部の訴えはありませんでしたが、下腿から大腿にかけての外側に痛みの訴えがありました。試合の間ということもあり、1試合目で疲労している箇所をほぐしながらストレッチングを行っていきました。

試合後は自らアイシングをされておりました。その後、ホテルの部屋にお邪魔して、マッサージを中心に行いました。特に左下腿外側、下腿前面の固さ、痛みの訴えが目立ち、かなり疲労している状態でした。



【2日目】

福岡スーパーシニアは、昨日惜しくも敗退となってしまったため同じ九州勢で勝ち上がっている九州代表のシニアチームの応援、コンディショニングを行わせていただきました。

～試合結果～

9:30 準決勝

九州代表チーム 対 広島代表チーム

試合は前半から、一桁差を追いかける展開となりました。相手の当たりが強く、ファールが重なり、なかなか点差が縮まらないまま、後半、8点差からのスタートとなりました。後半は、粘り強いディフェンスからの速攻が印象的な展開となりました。最終ピリオドで6差まで詰め寄りましたが最終的に9点差という惜しい結果となりました。



～帯同内容～

コンディショニングとしては、試合前後に下肢を中心に行わせていただきました。

前回の九州大会においてもコンディショニングをさせていただいた選手であり、前大会以来、自身でケアを行うようと心がけてきたとのことでした。

また、試合中に足首をひねってしまった選手がいたため、テーピングで固定をさせていただきました。



【終わりに】

全国各地の代表が集まる当大会。

40歳以上ということより、普段は仕事をされている方ばかりで、前日も通常通りの仕事をこなした後に現地に集まってこられた方も多かったようです。

それでも、忙しい毎日、年齢を思わせないほどのスピード、パワー、気迫あるプレーから、底知れない体力を感じました。またそれと同時に、体のケアをしていくことの必要性を感じました。

バスケットボールは接触プレーが多く、けがの多いスポーツであると言われております。しかし、多くの方に、大好きなバスケットボールを生涯続けていただくために、私たちにもできることはないか、考えていきたいと思いません。

このような機会に参加させていただいたことに心より感謝申し上げます。これからのご活躍を期待しております。ありがとうございました。



来年は山形県酒田市が会場です！